

岩手教区報

第366号

立教186年6月1日

天理教岩手教務支庁

盛岡市馬場町3-40

TEL 019-622-7962

FAX 019-623-9597



今年3月、4年ぶりに開催された大教会の少年会総会に、上級教会の団体引率で参加させて頂きました。これは、教区学生会の「春の学生おぢばがえり」団体との合同企画でありました。2台のマイクロバスで往復夜行、その運転手をつとめました。27日の少年会梅谷団総会、28日の春学式典、そしてそれぞれの前後のプログラムも滞りなくつとめて、無事に24日から29日朝までの行程を務め終えました。

27日総会の後、本部夕勤め参拝に向かい、東筋でマイクロバスを降りると、中山大亮青年会長様がお知り合いと思われる帰参者と談笑されていました。これは、と思い立ち、写真にお入り頂きたいとお願いしました。すると、快くお応え下さり、まさに満面の笑顔の大亮様をセンターに、満開の桜をバックにしての写真が撮られました。少年会員も育成会員も大変感激しました。私自身も、体調面に多少の不安もあったのですが、こうして子どもたち、学生さんたちを連れてきて本当に良かったと思えました。

翌月、その写真と全員のお礼のメッセージカードを貼りつけた色紙を、上級の会長さんから真柱宅に届けて頂きました。



喜びのおぢばがえり

奥州支部長

崎山道範



教祖御在世当時、お屋敷に歩いて帰った道の子供の誰彼から、「ああ、結構や。こうして歩かしてもろても、少しも疲れずに帰らせて頂いた。」という喜びの声が聞かれたといいます。しかしこれは、教祖が「足がねまる。」「しんどい。」などと、可愛い子供たちの身代わりをしてお疲れ下さっていたからであります(『稿本天理教教祖伝逸話篇』162「親が代わりに」参照)。

昔のように徒歩の帰参ではないにしても、おぢばより1千キロも離れたこの岩手の地からのおぢばがえりは、時間も費用もかかり、それなりの体力も必要です。しかし、それもこれも、ご存命の教祖が私たちの疲れを取って下さっていると思えば、何ともありがたく自ずと勇み心が湧いてきます。そして、思いがけないサプライズを用意して下さいさることもあったりします。

さて、今月、「岩手教区全教会おぢばがえり」が実施されます。これは、教祖百四十年祭三年千日の踏み出しに当たってのおぢばがえりです。一人も多くの岩手につきながら教友が、お待ち下さる教祖の元に帰らせて頂き、本部神殿でおつとめをつとめ、岩手教区が一つとなって年祭活動の決意を固めさせて頂きたいと思えます。

4・29 全教一斉ひのきしんデー

“ 成人の旬 一手一つに実動 ”



二戸支部



九戸支部



九戸支部



盛岡支部



盛岡支部



三陸支部



花巻支部



花巻支部



三陸支部

1日 役員会(10時)
決算地方委員会(役員会後)
4日 教職員の集い総会及び講演会
10日 学生担当委員会例会 (19時30分) zoom
18日 女子青年例会(10時)
24日 全教会おぢばがえり (27日)
25日 青年会岩手っ子だヨ! 全員集合 (10時 於天理)
29日 少年会例会(12時)
30日 婦人会例会(10時)
主事会(15時)

行事予定

【6月分】



奥州支部



奥州支部



県南支部



県南支部

島教区長の講話では、青年会基本方針である「心を澄ます毎日を。」に言及し、青年会本部例会で話された、中山大亮青年会長様のあいさつを引用。「教えに基づく対話」「ほこりを減らし、誠を増やす」「お



「東北ブロック大会in福島」

参加報告

去る5月3日から4日にかけて、福島県国立磐梯青少年交流の家を会場に、「東北ブロック大会in福島」が開催され、岩手教区青年会より7人が参加した。午後1時30分より開会。始めに平澤信行福島教区青年会委員長が歓迎の挨拶。

平澤勇一福

島教区青年会では、来たる6月25日(日)10時から、おちばに於いて、「岩手っ子だヨ！全員集合」を開催します。教区という横の繋がりを深める一助として、記念建物を共に見学し、昼食を兼ねた懇親会をさせていただきますと思います。岩手出身のおちば在住の16歳から50歳までの男女が対象です。なお参加費は一人500円です。詳細と申込は村松委員長(080-5553-3160)までご連絡下さい。

「岩手っ子だヨ！全員集合」

【6月25日】

つとめ」について、原典をもとに青年会員の日々の通り方について、わかりやすくお話し下された。「グループトーク」では、「対話」をテーマに、少人数での話し合いの時間がもたれ、最後に参加者全員での交流会が行われた。



「教区献血ひのきしん」【7月16日】

来たる7月16日(日)、教務支庁を会場に、「教区献血ひのきしん」を実施します。庁舎内に移動採血車が配車になり、献血者50人を目標に、近隣住民にも広く呼びかけ、献血以外にも様々な企画を用意しております。

血液は生きた細胞ですので、長時間の保存はできませんから、多くの方の献血への協力が必要です。健康に感謝しつつ、人だすけのお役に立つ「献血」は、命を繋ぐひのきしんです。ご理解とご協力を頂き、各支部より多くのご来場をお待ちしています。

献血受付 9時～15時(12時～13時休み) 講習会 10時～11時「救急法・急病と救護」日赤講師による講習会

出張販売 レジュイール「パン」 紫波酒造「清酒」「甘酒」

※献血は近隣の方や遠方の方を優先する場合があります。講習会は無料。キッズスペースあり。



婦 人 会

「教区婦人会総会」開催報告



教区婦人会は、去る4月30日(日)、教務支庁を会場に「教区婦人会総会」を開催し、会員123人が参加した。

午前10時より開会。始めに、参加者一同心ひとつに座りつとめをつとめさせ

て頂いた。式典では、婦人会長様の御告辞を鈴木真喜教区婦人会主任が代読し、引き続き挨拶を述べた。鈴木主任は、教祖百四十年祭三年千日の通り方について、「心の成人を特に意識して通ってほしい」とされた真柱様のお言葉を元に、教区婦人会としての歩み方や取り組みについて話した。その後、支部主任の紹介があった。

続いて、鈴木真彦教区長が講話に立ち、まず、久しぶりの総会開催に祝意を述べた。次いで、ご自身の身上や修養科一期講師の時の体験を元に、おつとめの尊さを語った。そして、論達で「全教の心を

一つにしたい」と示されていることから、皆で心を一つにして年祭活動をつとめようと話された。総会後は庁舎内でバザーが開かれた。その収益金の一部は女子青年の活動資金に充てられる。6年ぶりの開催となった今回の総会は、雨模様にも関わらず大勢の会員が集い、年祭に向かって明るく勇んで通る事を誓い合った、意義ある総会となった。



「学生層育成者講習会」【7月1日】

教区学生担当委員会は、「学生層育成者講習会」の開催を通して、学生層育成の重要性を認識していただき、さらにその気運を高め、学生一人ひとりの育成に一手一つに取り組んで参りたいと存じます。

つきましては、左記の通り講習会を開催しますので、一人でも多くご受講下さいますようお願いいたします。

日 7月1日(土) 10時
場 所 教務支庁
講 師 中山祥吉先生
(学生担当委員会副委員長)



学生担当委員会

全教一斉ひのきしんデー (4/29～5/16)

九戸	大野小学校	41人
	中野濱分教会墓地	19人
	川尻海岸	15人
	南陸中分教会	9人
	陸中戸田分教会	7人
二戸	田代平道路	19人
	北福岡分教会及び周辺	9人
	浄土寺診療所	8人
	一戸町河川公園	7人
	ハナレ森墓地	4人
	金田一分教会前広場	3人
盛岡	盛岡城跡公園	74人
	もりおかこども病院	21人
	教務支庁	11人
	大通り周辺	11人
	あんずの里	10人
	沼宮内分教会	6人
	岩盛分教会周辺	5人
	西根バイパス待避所	5人
三陸	浄土ヶ浜	53人
	八雲公園	25人
	吉里吉里駅前公園	7人
	荒神海水浴場	4人
花巻	北上消防団第1分団周辺	20人
	花巻小学校	15人
	城山公園	10人
	鍋倉公園	6人
奥州	J R陸中折居駅	58人
	江刺総合コミュニティセンター	34人
	金ヶ崎診療所	20人
県南	桜保育園	24人
	特別老人ホームひなた苑	24人
	陸前高田 大野海岸	15人
岩手教区	総数	599人



献血推進委員会